

2003年度 町田のごみ情報

ごみが増え資源が減少しています

このままでは埋立地の寿命はあと10年

まずは紙ごみの減量から始めましょう

【ごみ量の推移】

2003年度の町田市の資源とごみの排出量は14万5131トンで、人口増とともに、ごみの量も年々増加しています。

1人1日当たりの資源・ごみ排出量は736gで、前年度に比べ1g増加しました。資源とごみの割合は、2002年度からごみが増え資源が減少しています。

全体ごみ発生量に対するリサイクル率は、22.1%と2001年度以降、減少傾向がみられます。

【ごみの組成】

燃やせるごみ

2003年度のごみの組成をみると、燃やせるごみの組成の中では生ごみが39.4%を占めています。しかし、現在、ごみとして捨てられているものの中には資源にできる紙類が15.6%も含まれており、それを生ごみとしてではなく資源として出せば、さらにごみの減量とリサイクルの推進を図っていくことができます。

燃やせないごみ

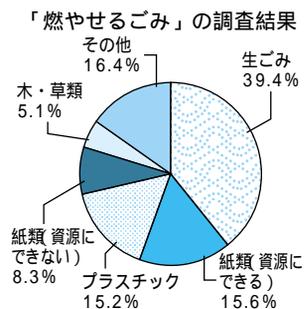
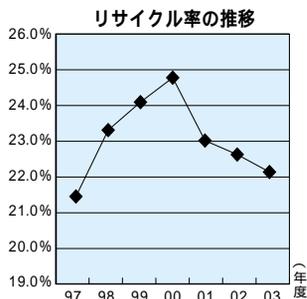
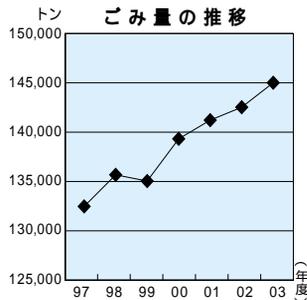
燃やせないごみの組成では、「燃やせるごみ」、「有害ごみ」、「粗大ごみ」など、ルール違反のごみが20%近く含まれていました。分別の徹底を図ることで、適正なごみの処理が促進されます。

【最終処分地と処分量の推移】

2003年度にごみ処理施設から排出された焼却灰は1万3903トン。全量を日の出町の二ツ塚廃棄物最終処分場に搬入しました。

多摩地域25市1町で使用するこの最終処分場には、各市町から約380万人分の可燃ごみ焼却灰や不燃ごみが運ばれてきます。

現在、全体の3分の1の埋め立てが終了し、残りの



3分の2をできるだけ有効に活用するため、各市町の持ち込み量が割り当てられ、割当量を越えたときは課徴金が徴収されることで、処分量の抑制が図られています。また、焼却灰をセメント化することで埋立量を削減するエコセメント事業にも取り組んでいます。

【ごみ処理経費の推移】

2003年度の人口1人当たりのごみ処理経費は1万3744円、1トン当たりの処理経費は3万7978円でした。処理経費は年々減少しています。人口、ごみ量とも増加しているにもかかわらず処理経費が減少しているのは、人件費の抑制、事業費の削減、公債利子の減少などが主な理由です。今後、老朽化している焼却施設やビン・カンの処理施設整備等で多額の経費が見込まれます。

紙ごみの分別

「燃やせるごみ」の日に集積所に出されているごみを見ると、袋の外からでもわかるほど、新聞、チラシ、ダンボールなどの紙資源が混ざっている袋があります。

紙を「燃やせるごみ」の日に混ぜて出すのはルール違反です。古紙・古着の日にし出して下さい。トイレトーパーの中芯も紙です。雑誌の間に挟むなどして古紙・古着の日にし出しましょう。

しっかり分別に取り組んで、ごみ量を減らすことに協力下さい。

紙ごみの分け方

新聞(広告チラシを含む)

古紙・古着



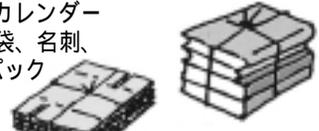
書籍・雑誌・雑紙

古紙・古着

雑誌の例(雑誌に挟み込むか紙袋に入れるなどしてし出して下さい) = 空箱類、包装紙、封筒・便箋、カレンダー(紙)、ボール紙(厚紙)、メモ用紙類、紙袋、名刺、トイレトーパー・ラップの中芯、卵の紙パック

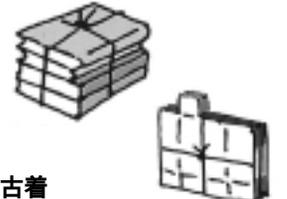
ダンボール

古紙・古着



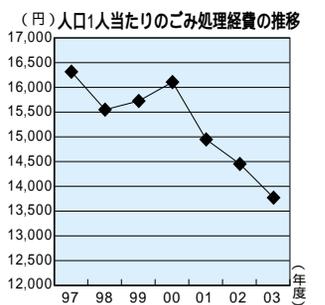
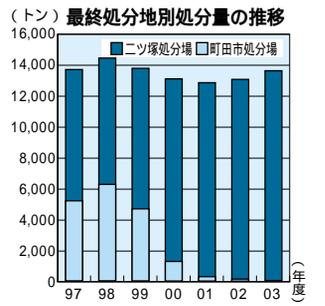
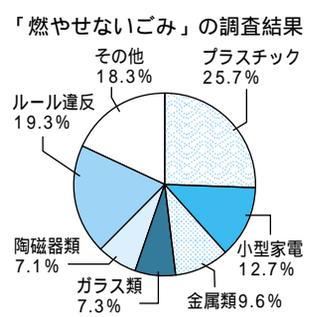
紙パック

リサイクル推進店または古紙・古着



資源にできない雑紙は燃やせるごみに出して下さい。資源にできない雑紙の例 = 窓付封筒の窓部分、ビニールコート紙、ワックス加工された紙コップなど、油紙、写真、防水加工紙、感熱紙、カーボン紙

燃やせるごみ



問ごみ減量課 ☎797・0530

町田ごみフェスタ2004

「ごみゼロ元年」

ごみ減量一人ひとりが意識して!

日頃からごみの減量やリサイクル活動に取り組んでいる市民、団体等が実行委員会を組織して、今年も『「ごみゼロ元年」ごみ減量一人ひとりが意識して!』をスローガンに町田ごみフェスタ2004を開催します。ごみや環境問題を、楽しみながら考えていただけるアイデアや工夫いっぱいのイベントです。

直接会場へおいで下さい。

日時 10月3日(日) 午前10時～午後3時

会場 リサイクル文化センター

内容 おもちゃ病院、施設見学会、鶴見川源流ツアー、長傘の修繕実演・講習、ソーラーカー(玉川大学)の展示、フリーマーケット・バザー、PRコーナー、リフォーム家具の販売、リサイクル商品・自転車販売、古紙100%トイレトーパー・ティッシュ販売、生ごみ・プラスチック資源化紹介、スタンプラリー、ステージ(チャリディング・お離子、子どもエアロピクス、着物美サイクル~ハンドメイドファンタジー、小学生によるごみ環境問題の研究発表)

表)、軽食喫茶、草花などの販売、模擬店など 交通 町田バスセンター11番乗り場から市立室内プール経由野津田車庫行きバスで「市立室内プール」下車。臨時便(有料)も運行します。または3番乗り場から小山田桜台行きバスで「桜美林学園」下車、徒歩7分。



昨年のステージから小学生による環境学習発表

問ごみ減量課 ☎797・0530

10月の母子健康案内 問健康課 ☎725・5422

Table with columns: 事業名, 会場, 期日, 時間, 対象, 内容. It lists various health services for mothers and children, including prenatal care, lactation seminars, and infant consultations.

健康案内

検診

健康課(〒194-00013、原町田5-8-21、健康福祉会館内、☎725・5178)

マンモグラフィ導入

乳がん検診秋期分

対象 平成16年の誕生日で40歳～70歳の偶数歳となる、4月～12月生まれ的女性(2年に1回受け)

健康課(〒194-00013、原町田5-8-21、健康福祉会館内、☎725・5178) 健康課(〒194-00013、原町田5-8-21、健康福祉会館内、☎725・5178) 健康課(〒194-00013、原町田5-8-21、健康福祉会館内、☎725・5178)

【非負担者について】 10日前までに送付します。 次の方は無料になります。 福医療証をお持ちの方 老人保健法医療受給者証をお持ちの方 高齢受給者証をお持ちの方 市民税非課税世帯の方 生活保護受給世帯の方 【次の方は受けられません】 乳房に関する疾病で経過観察中、治療中、手術後の方 豊胸手術を受けている方 現在授乳中、妊娠中(可能性も含む)の方 既に何らかの自覚症状があり医療を受診することが適当な方

健康づくり

市民健康講座

「更年期からの健康管理」、乳がんの早期発見 乳がんの自己発見法」 健康課 ☎725・5471 日時 9月25日(土) 午後1時30分～3時30分 会場 健康福祉会館4階講習室 講師 森医院・森満洲雄氏、黒澤クリニック・黒澤輝司氏 定員 250人(申し込み順) 申し込み 電話で健康課へ。 駐車場はありません。